

## 西東京

### 朝岡 1失点力投 惜しくも実らず

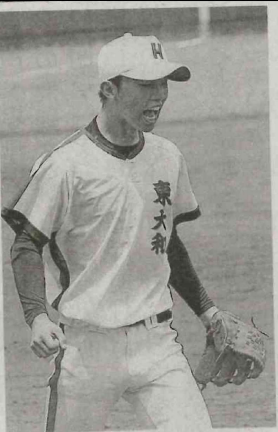
東大和

①：東大和の朝岡涼太投手（3年）が9回1失点の力投も実らなかった。

三回以降、毎回先頭打者にヒットを打たれ、ランナーを背負う苦しい場面が続いたが、粘りのピッチングで五回の本塁打による1失

点に抑えた。

九回一死一、二塁のピンチでも「三振を取れば裏の攻撃でチームに勢いがつ



く」と、スライダーで狙っていた三振を奪い、右こぶしを握って「よっしゃー」とほえた。生まれて間もなく、腸の

難病「ヒルシユスプルング病」と診断された。今では完治したが、そんな自分が甲子園に行って、難病の子どもたちの励ましになりました

9回 大付 工学院 東大和 1  
2死 1、2 三振を奪い  
「よっしゃー」と声を上げ  
る東大和・朝岡（18日、多  
摩市一本杉球場で）

いと思っていた。

「試合は惜敗した。だが、最後まで自分の投球ができて、達成感があります」と話す姿に涙はなかった。「大学に進学して野球を続け、将来はプロになりたい」。次の目標を掲げ、飛躍を誓った。

### きのうの結果

西東京

▽3回戦